

第407輯

平成33年3月創刊
月刊

わが町と原

みほろ歴史と観光の会

令和 7年

2月号

快晴の巳年新年夜明け



〔 三原港の初日の出 〕

2025.01.01 撮影 大原哲子(港町)

乙巳年新年の太陽は、山を越え、分厚い雲を越えて顔を出し、燦燦と輝いて、三原港を真っ赤に染めた。訪れた人達から思わず大きな拍手が湧き幸せを感じた瞬間であった。平穏な一年になる前兆と思いたい。

二 月 の 行 事	各 地	02日(日)	節分豆まき	糸碓神社・三原八幡宮・賀羅加波神社・瀧宮神社
		07日(金)～09(日)		神明市(神明さん) 東町～館町～本町一帯
	会	15日(土)	御福開祭 はだか祭	久井稻生神社
		22日(土)	三原城・町村略史(6)	10:00～ サン・シープラザ4F 実施要領は12頁に記載

P 1 表紙…表題：快晴の巳年新年夜明け

行事予告

写真：三原港の初日の出

2 レキカン勉強会で三原市史読んでます

沼田東町 津島 敏子

3~7 岡山城に見る小早川秀秋

宮 浦 鈴木 健次

8~11 歴史講演「三原市の誕生」(2) 三原市文化財協会 前会長

橋本 敬一

12 会よりの便り

事務局



きさらぎ

如月

今月の各地



きのと

乙巳

むら

AJ2685

令和七年

AD2025

まち

歳時記

レキカン勉強会で三原市史読んでます 沼田東町 津島 敏子

三原市史は難しい。特に第三巻近現代編は身近であるにも拘わらずである。私は、江戸期から明治大正、そして黒い時代をすっ飛ばして現代があるような妙な歴史感(歴史観ではなく)で、思えば、中学高校で受けた日本史でも時間的制約や黒歴史のせいもあり?駆け足でやり過ごし、見たくない曖昧な空白期のような気がするのも一因かもしれない。そのうえ、読めない漢字、耳慣れぬ熟語、難解な言い回しに、否応なく自分の無知を痛感させられている。

そんな中、さらに追い打ちをかけるが如く、引用されている文節に、発刊当時の人たちの知識の高さを思い、落ち込んでいる。

P202 「空襲を受けなかった三原の町は、呉やそのほか大きい町々の買出し場所であった」(宮本百合子著「播州平野」)。さらにまた、三原は旧植民地や戦災都市からの疎開地であった。

P222 呉線の鉄橋が落ちたので、小説「播州平野」(宮本百合子著)の主人公ひろ子も、十月八日の夜、須波から三原の町まで歩いている。

私にとって、宮本百合子など、日本史でプロレタリア作家、作品「伸子」という知識でしかなかった。読んだことすらなく、共産党書記長となった宮本顕治の妻だとはさらに知らず、市史を読みながら文学の無知をも露呈するという二重の赤っ恥である。漱石や鴎外ならいざ知らずと負け惜しみを言いつつ、取敢えず読んでみた。網走に収監されている夫の元に向かう自伝的小説。東京、実家福島、義母を見舞いに柳井沿線の田舎町、原爆や大水害や、いろいろありまして…、思想犯解放の記事がでるや、断裂の鉄道で、トラックで、荷馬車で、徒歩でと網走に向かう途次、三原を歩いて、どうにか播州平野にたどり着いたところで終わっている。

そして、当時の「赤」への風当たりは欠片も書かれてはいないが、おそらく、惨憺たるみちゆきにも、夫の元へと向かう強い明るいぶれない生き方が眩しい。

文中、三本松の駅が出てくるがこれは多分八本松の誤りと思いつつも、宮本百合子さん、なんと的確に三原を捉え表現していることか。編集委員の方の愛読書だったのかちょうど読まれていたのか、ここぞとばかり引用されたのであろう。おかげで読むきっかけをもらった。

レキカンだよ!

令和7年02月

検索

わが町三原

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

TEL 080-6335-9932

FAX 0848-63-9932

Eメール kechigo@dream.jp

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

12月26日 月報発送配布作業(後、大原、岡田、小川、金森、桑田、川上、小森、近藤、
正田哲、瀬畑、西村、松竹、三好他)

01月01日 初日の出拝(桜山山頂)

01月06日 01月度理事会(年間行事計画など)

01月16日 京覧カントリークラブ入口花壇整備(瀬畑)

行 事 予 定

1. 勉強会 三原城・町村略史(6)

(1) 日 時 令和7年02月22日(土) 10時～12時

(2) 会 場 サン・シープラザ4F 第2研修室

(3) 内 容 三原市史を中心とした資料で輪読形式

2. 春のハイキング予告 内容詳細と参加募集は次月号とします

(1) 日 時 令和7年4月06日(日) 8:00 隆景広場バス発着場集合。

雨天時は 4月13日(日)に順延します

(2) 見学先 8:20発のバスに乗車 中之町小学校前下車

賀羅加波神社で代表される神社やお寺、新四国地蔵等の
史跡をめぐり12時頃隆景広場帰着解散の予定。

解散後、時間に余裕のある方は、三原城天主台跡で
お昼弁当を広げての談笑は如何でしょうか。

(3) 参加費 バス代(敬老優待券あれば100円)、
参加費500円(見学資料・写真・保険代)